

| 日時   | タイトル名   | 場所・座席             | 料金                                       | チケット<br>発売場所      | 未就<br>学児 |
|--|---|-------------------|--|-------------------|----------|
| 3/14<br>(土)  | 開演 13:00<br>(開場 12:30)<br>第15回 大和郡山合唱フェスティバル                    | 大ホール<br>全席自由      | 入場無料(要整理券)<br>※整理券はホール事務所で配布中(残席<br>わずか) |                   |          |
| 出演:片桐みんなで歌おう、郡山エコー、M'sコーラス、三の丸合唱団、三の丸少女合唱団、ヴォーチェ・アマービレ、やまと郡山城ホール混声合唱団、コーラスき・ら・ら、三の丸唱歌の部屋、郡山高校合唱部、混声『萌』、コーラス歌団、おたまじゃくし、奈良嬢の会合唱団、女声コーラス きんとっと、郡山中学校コーラス部、ひかり園音楽隊、女声アンサンブル・ティアラ |   |                   |  |                   |          |
| 3/15<br>(日)  | 開演 14:00<br>(開場 13:30)<br>中丸三千繪 ソプラノリサイタル                       | 大ホール<br>全席指定      | 一般:4,000円<br>メイト会員:3,600円<br>(当日は各500円増) | 発売中<br>☐ ☐ ☐ ☐ e+ | ×        |
| 出演:中丸 三千繪 安達 朋博(ピアノ)<br>曲目:ハンデル/オンブラ・マイ・フ 歌劇「セルセ」より、プッチーニ/私のお父さん 歌劇「ジャンニ・スキッキ」より、ヴェルディ/ありがとう愛する友よ 歌劇「シチリア島の夕べの祈り」より、プッチーニ/歌に生き、愛に生き 歌劇「トスカ」より、ラフマニノフ/春の洪水 Op.14ほか            |   |                   |  |                   |          |
| 3/27<br>(金)  | 開演 19:00<br>(開場 18:30)<br>金曜トークサロン vol.48<br>～会いたい・知りたい・つながりたい～ | レセプションホール<br>全席自由 | 1,000円<br>(コーヒー・紅茶付き)                    | 発売中<br>☐          | ×        |
| 「私達がいます」～なら犯罪被害者支援現場からのメッセージ～<br>ゲスト:田坂きよみ(奈良県警部補、元被害者対策係兼性犯罪捜査指導係)<br>聞き手:松本真理子(マリンバ奏者、大和郡山市音楽芸術協会特別顧問、DMG MORI やまと郡山城ホールアドバイザー)  |   |                   |  |                   |          |

※チケット欄の記号=発売場所 ☐:やまと郡山城ホール窓口 ☐:ローソンチケット ☐:チケットぴあ e+:イープラス

**<ホールサポーター募集>**

ホールの公演でチケットのもぎり、観客の誘導・案内などをお手伝いしていただく「DMG MORI やまと郡山城ホールサポーター」を募集します。日頃から文化・芸術に関心のあるみなさん、ボランティアとして楽しみながら参加してみませんか？

**応募条件** = 18歳以上(高校生除く)の文化芸術に関心のある人で、月1回以上、主催事業のある日に活動できる人

**応募・問合せ** = 3月7日(土)9時から(休館日除く)、所定の応募用紙に必要事項を記入して、DMG MORI やまと郡山城ホール事務局(☎54-8000)に持参。先着順に受付し、定員(20人)になり次第締切。



**市長てくてく城下町 175**

**『売り込め古都の靴』**

大和郡市長 上田 清

先日、奈良靴産業協同組合(大和郡山市小泉町)に加盟する製造業者7社が、オリジナルブランド「KOTOKA」を立ち上げたという記事が新聞に掲載され、話題を呼んでいます。

KOTOKA = ことか = 古都靴!

奈良県はもともと履物製造が盛んな地域で、本市の革靴製造は昭和30年代機械化とともに急速に発展し、昭和59年には小泉町に同業者による靴工場団地が全国で初めて設立されました。

以来さまざまな事業が展開されてきましたが、近年は低価格の輸入品が増えて国産品を圧迫するようになり、全国的にも靴産業が低迷するなか、これに立ち向かうべく「奈良発靴プロジェクト」を設立した7社は共同で新ブランド「KOTOKA」の開発を開始。試作を重ね、今年3月には東京で完成披露をする予定だそうです。

新聞には明治建築の面影が色濃く残る郡山城

跡の城址会館で、組合員のみなさんがPR用写真を撮影するようすが載っていましたが、本市の伝統産業ともいべき革靴の製造技術と製品の魅力が、幅広く心豊かな発信を通じて、新たな展開につながっていくことを念じているところです。

一方、このプロジェクトとは別にここ1、2年本市のふるさと納税返礼品で絶大な人気を博しているのが、岡山のデニムと姫路の牛革を使い本市で製造した紳士靴で、この反応に確かな手ごたえを感じるとともに「奈良発掘プロジェクト」ともコラボができればと考えています。

加えて、小泉町の靴工場団地については昨年12月「周辺の自然環境と調和した」工場などを誘導し「地域経済の基盤強化と雇用の場等を確保するため」規制緩和などを行う地区計画の策定が都市計画審議会承認をいただいております。活性化に向けての一助になればと願っています。

